琉球大学学術リポジトリ

花木養方

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2021-09-08 キーワード (Ja): 所収コレクション：琉球大学附属図書館宮良殿内文庫, 宮良殿内（みやらどぅんち） キーワード (En): In Collection: The Miyara-Dounchi Collection (University of the Ryukyus Library) 作成者: 松茂氏當宗（筆写）, 2021/9/8 16:09 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/49068

花木叢書之書

松蔭氏

高宗

芝蒙叢方　　村田親方傳受

一　古椿様ニ六月ニ至用ニ蒙大和古ニ小便ニ
二日程浸し又七八日程目ニ晒し粉別ニ上ニ
通し鉄様濃九月末十月初比霜降ニ
蒙造様留ニ而右

一　様留ニ時蒙屋尾屋ニ埴古ニ蒙ニ赤古
ニ古鉄ニ底ニ三寸遣ニ白変様濃ニ古入
蒙蒙ニ少ニ色ニ入ニ古ニ鉄ニ方ニ漏ニ

入水ひしゝけし又古水ひし度に右通ニ而
て極事

一 極暑の時ニ指日程も有之事也

一 二月三月和ヶ月も古乾のて見合小便
一碗ニ天水口碗ニ交ニ置ハ可宜也

一 四月ニ至八月迄ともかし用ニ申也

一 十一月十二月雨天二三日前の時も見宜曾
其後も換置て有之也

一 右之毎月も朝日ニ前の時宜也

一 正月ニ而も寒ニ氣ニ滋有之後ハ古同所

一 夏も蔭冬も日之前の所ニ茶立宜也

一 日時ニ古乾の時ハ天水ニ置て申也
附古乾の時ハ古字白ニ也

一 鶴鶴班ニ対の時湯ニ素粒子池かゝ交
冷しの時ニ繋ニ湯ニ座墨白ニ而ニ摺蔵也
お涼也

一 くわしこ織豆こけ腐こけ油粉
麻かこ古麻かこ根用に為宜油中方し有しに宜
右枝に物お用に以る布為くわし遣に志ニ宜
一 平日古お枝にて亦評に為古織紀し髮復
に紙注に為宜に寿しとも 右同所

桃叢方

一 春夏こ沈さ五ヶ月に於六度ニ水お用に事
一 九十月こ沈さ五ヶ月に於三度ニ小便三ヶ一
水三ヶ氣お更 右同所

梅こ叢方

一 花咲に以後枝ここ月恰好見合こ四寸程殘
芽こソ四ソこ宮出ク枝ハ切取尤糞用枝も
五ヶ月こ中ニ六度計いろ小也 焼きも糞
一ニお用に
一 古梅枝も如何ニ肥ニ有る古小細砂しこ合濃淡
安くか澄けりてかハ好を好むなり

一 四月に来る毎夢半分に行こと取に事

一 六月去三月に附て糞差和水計置に事
但木振紙り中附て水底絶しに為木の
痛お付に為枝に和りに水好に無り
此方にて云々

一 七月に来八月初潮に冷底向に沈かす一ヶ月に
和三度にて上下し薄用十月沈造て限分濃生
吏も後て折に水計置に事

一 又大きさ木を移しこれゆるを枝を大きく伐去る事
漸に沈を今て入枝を植て枯る事なし
右に迎致し入れて沈ゆるゆる物為流球
御國に枝を乱を沈山候て中沈切花に方
取沈書記に之

椿取扱に次第

一 赤取に去七八日程日に前上吏により扱に為
取濡沈拙護方に事

組右振用之御ゟ御ハ仕立の事

一 椿庵来御時ゟ而しこ御しゝ九右ニ小便水
半方鈴ゟ而御ニ植付の事

一 二月末沈丈ニ田又六月迄ニ後ニ次六月ニ
用ニ故次ゟ而して宜ハ

一 三月清明之沈ニ擧出ハ其時分ハ次方
見ニ可ハ

一 山ニ庵来ニ後藤有しの者植付の而ニ年程

お遣後次方ニ御ハ

一 里庵来ニ早速より次方ニ可ハ

一 三郎しニ後十月より三月迄ニ小便水半方
鈴ゟ而月ニ三田度計お用田月ゟ九月迄ニ
其洗け水半方鈴ゟ而七八度成お用御分ニ
選物通の方ニ御ハ

一 椿植替之後十月より十一月迄ニ宜ハ

一 同重ニ之後田季ニ半影ニ宜ハ

一 風邪見廻蟻小出くだりを採用こゝ丸漆にかゝり
附清きさうつきゝ丸振し古同所

思本種核

一 孫ひ去寒 一 種去寒（なうしゆ去）
組の程成を寫分去振核ハ小便交を以て
合懐皮へ去中ニ十日計加そこの為其間
三度ニ下を小便水交の為かけれ左の為
日和見合ヲ振る種付の事

種付を附

一 牛皮黒燒細抹ニ鉢を綿ゲ上迄側ニ老ニ
鉢を底ニ沿ゝ砂取寸計入付ハ老ハ水を通ハ故ハ

一 種付方十月宜ハ

一 人中用核ハ西天を附小便交を水十月
四月迄四度計用ハ四月以後しみこぼ 小附
の時時ニ右を法を用ハ也

一 油かを鉢ニ入くすしの為し宜ハ

一 小便を取宜しかるを好きを付て見へ以て
冷涼を時に見合かけに而し宜し 此儀
能く再覚て御
用紙六枚
大清光緒十年臘月廿一日首里御醫者
田場親方と清而持て寄を寄再行也
松義氏
宮良親方と
富宗